TOSHIBA

東芝 DVD ビデオプレーヤー

型名 SD-270J

DVD VIDEO / COMPACT disc DIGITAL VIDEO / COMPACT disc DIGITAL AUDIO / VIDEO CD / DOLBY DIGITAL / dts DIGITAL OUT / QSOUND

取扱説明書



はじめに

- このたびは東芝 DVD ビデオプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- 本機を正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVD ビデオディスク、ビデオ CD は、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「✋」が表示されることがあります。
「✋」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン番号について

本機はリージョン番号2のDVDビデオディスクに対応しています。DVD ビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように 2 が含まれているか、または ALL が表示されていないと、このプレーヤーでは再生できません。（このとき「リージョンコードが違います」と画面に表示が出ます。）

付属品を確認しましょう

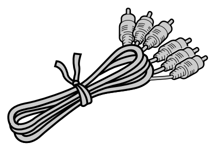
本機には下記の付属品があります。お確かめください。

ワイヤレスリモコン



単4形乾電池…2個

映像・音声接続コード



取扱説明書（本書）



もくじ

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること"を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

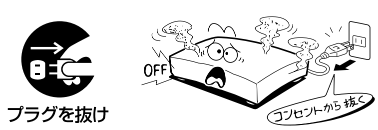
図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	"⃠"は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	"●"は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
⚠ 注　意	"△"は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

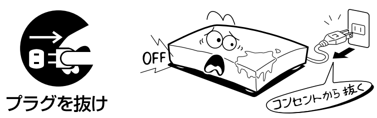
煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



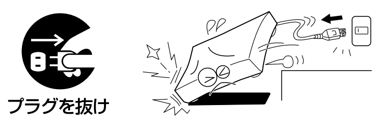
内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



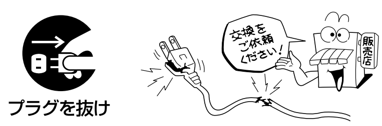
落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

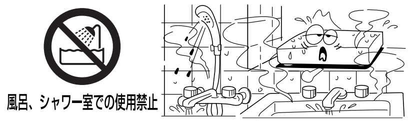


⚠警告

設置されるとき

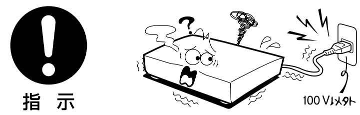
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。



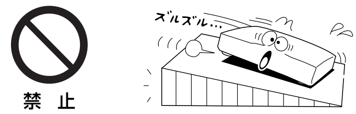
電源プラグは交流100Vのコンセントに接続する

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。



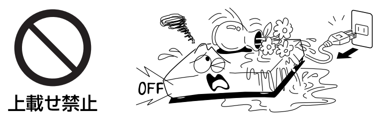
ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本機が落ちて、けがの原因となります。



上にものを置かない

- ●金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- ●重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。



ご使用になるとき

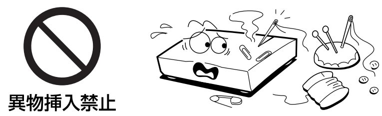
修理・改造・分解はしない

火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



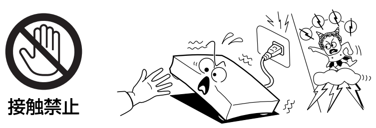
ディスクトレイなどから異物を入れない

金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



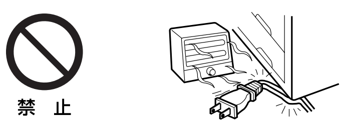
雷が鳴りだしたら、本機に触れない

感電の原因となります。



電源コードは
●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない
●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

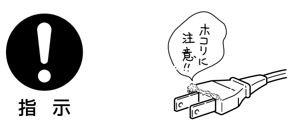
火災・感電の原因となります。



お手入れについて

電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。



安全上のご注意

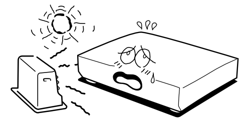
⚠注意

設置されるとき

温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

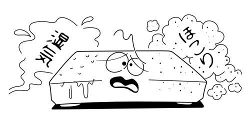
禁止



湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

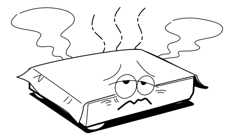


風通しの悪い場所に置かない

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。

- **壁に押しつけない。**
- **押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まない。**
- **テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしない。**
- **じゅうたんや布団の上に置かない。**
- **あお向け・横倒し・逆さまにしない。**

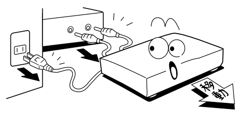
禁止



移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずす

電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

指示

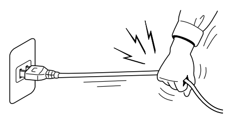


ご使用になるとき

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

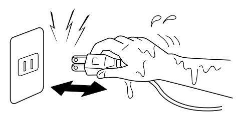
引っ張り禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

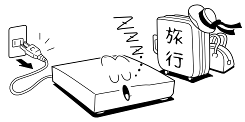
ぬれ手禁止



旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

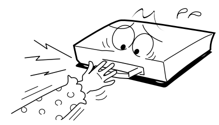
プラグを抜け



ディスクトレイに、手を入れない

指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

手を挟まれないよう注意



⚠注意

ご使用になるとき

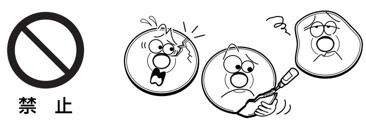
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



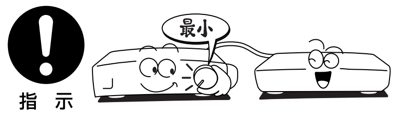
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



リモコンに使用している乾電池は、
●指定以外の乾電池は使用しない
●極性[(+)と(−)]を間違えて挿入しない
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



使用上のお願い

免責事項について

● 地震や雷などの自然災害、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
● 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

取り扱いに関すること

● 移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
● 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
● 長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。
● ふだん使用しないときは
必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。
● 長期間使用しないときは
機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

置き場所に関すること

● 本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
● 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
● よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

美しい画面を見るための点検のおすすめ

本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境(温度、湿度、ほこり)などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検・清掃されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

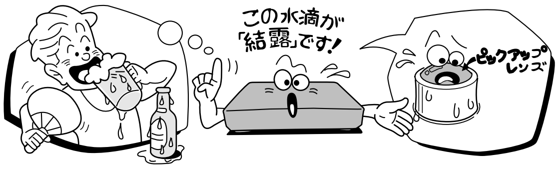
日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

結露（露付き）について

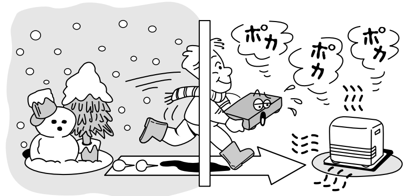
結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを“結露(露付き)”といいます。



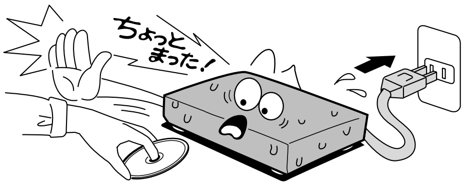
■ “結露”はこんなときおきます。

● 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
● 暖房を入れ始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いてあるとき
● 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
● 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いてあるとき
● 設置した直後



■ 結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくと“結露(露付き)”が生じにくくなります。



ディスクについて・お知らせ

ディスクの取り扱いかたなどについて説明します。

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク	DVD VIDEO	映像（動画）＋音声	12cm
			8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD	映像（動画）＋音声	12cm
			8cm
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm
			8cm（CDシングル）

以下のディスクも再生できます。
- DVDビデオフォーマットのDVD－R/DVD－RWディスク
- CD－DA（音楽用CD）フォーマットまたはビデオCDフォーマットのCD－R／CD－RWディスク

ディスクによっては再生できないものもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 上記のディスクでも、DVD－RAMや規格外のディスク、特殊な構造をしたディスクなどは再生できません。
- 本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式（PAL、SECAM）表示のディスクは使用できません。
- ディスクレーベル面に「CDロゴ」マークの入ったものなどJIS規格に合致したディスクをご使用ください。

■ ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD（バージョン2.0）に対応しています。（PBCとはPlayback（プレイバック） Control（コントロール）の略です。）
ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD（バージョン1.1）	音楽用CDと同じように操作して、音声と映像（動画）を再生できます。
PBC付きビデオCD（バージョン2.0）	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます（メニュー再生）。 この取扱説明書で説明されている機能が働かない場合があります。

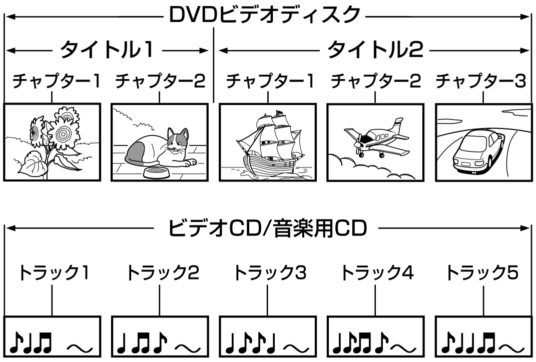
● ● ● お知らせ ● ● ●

ディスクにマークがあっても、データの作りかたやディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
市販されているDVDビデオディスクであっても再生できないことがあります。
その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。
（連絡先は裏表紙に記載されています。）

ディスクについて・お知らせ

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

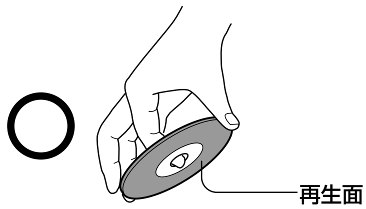


タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。
トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

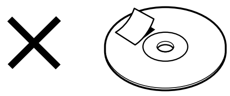
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、これらの番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。
  下図のように、ディスクの端と中央部を持つようにしてお取り扱いください。

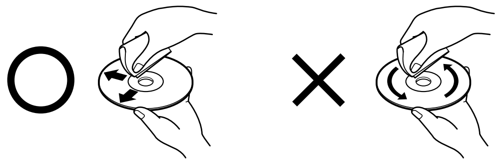


- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となることがあります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
  専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となることがあります。

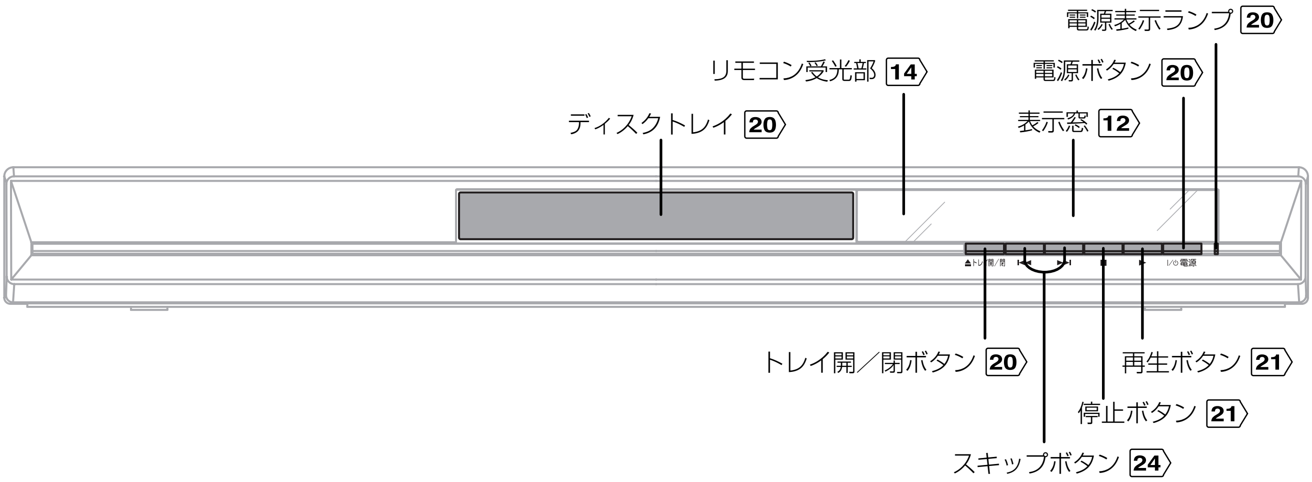
著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- ビデオデッキなどを接続してコピー防止機能の付いたディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画像は乱れます。
- 本機は、マクロビジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要であり、マクロビジョン社の許可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。

各部のなまえと働き

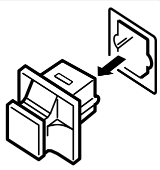
詳しくは、なまえの ⟩ 内のページをご覧ください。

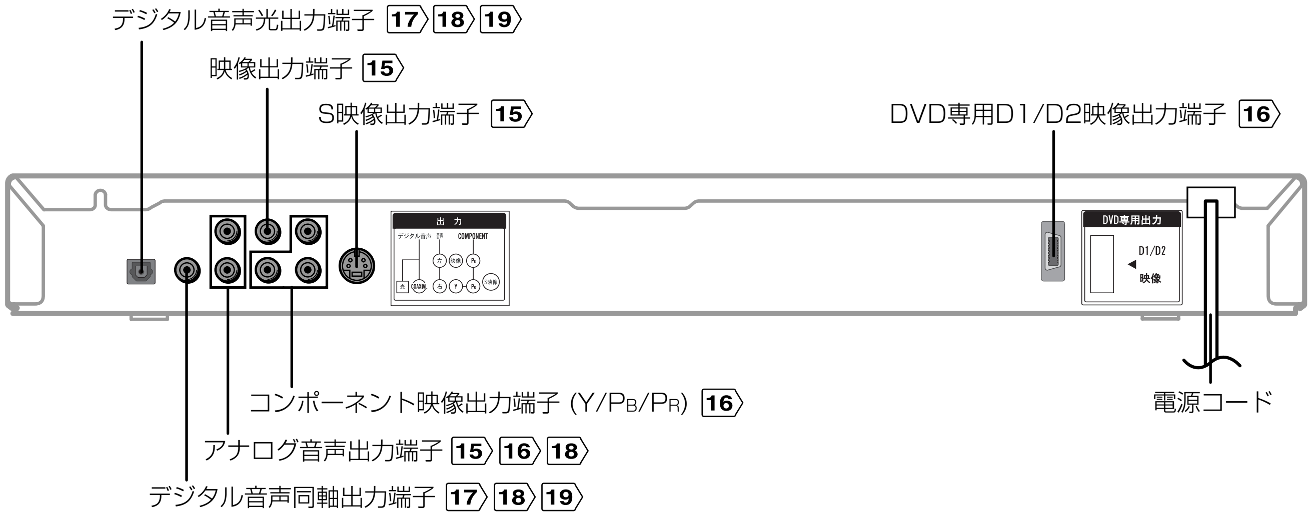
本体前面



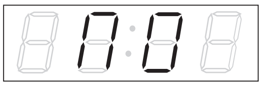
本体後面

光デジタルケーブルを接続するときは、キャップをはずし、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを取り付けてください。





本体表示窓



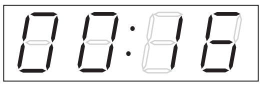
ディスクが入っていないとき



ディスクトレイが開いているとき

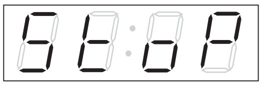
DVDビデオディスク

- 再生しているとき
  (例)



再生を始めてからの経過時間(時:分)が表示されます。

- 停止



ビデオCD(VCD)/音楽用CD

- 再生しているとき
  (例)



再生中のトラックの経過時間(分:秒)が表示されます。

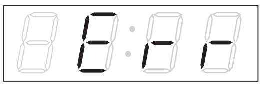
- 停止
  (例)



ディスクの合計時間が表示されます。

- PBC 付きビデオ CD を読み込んだとき



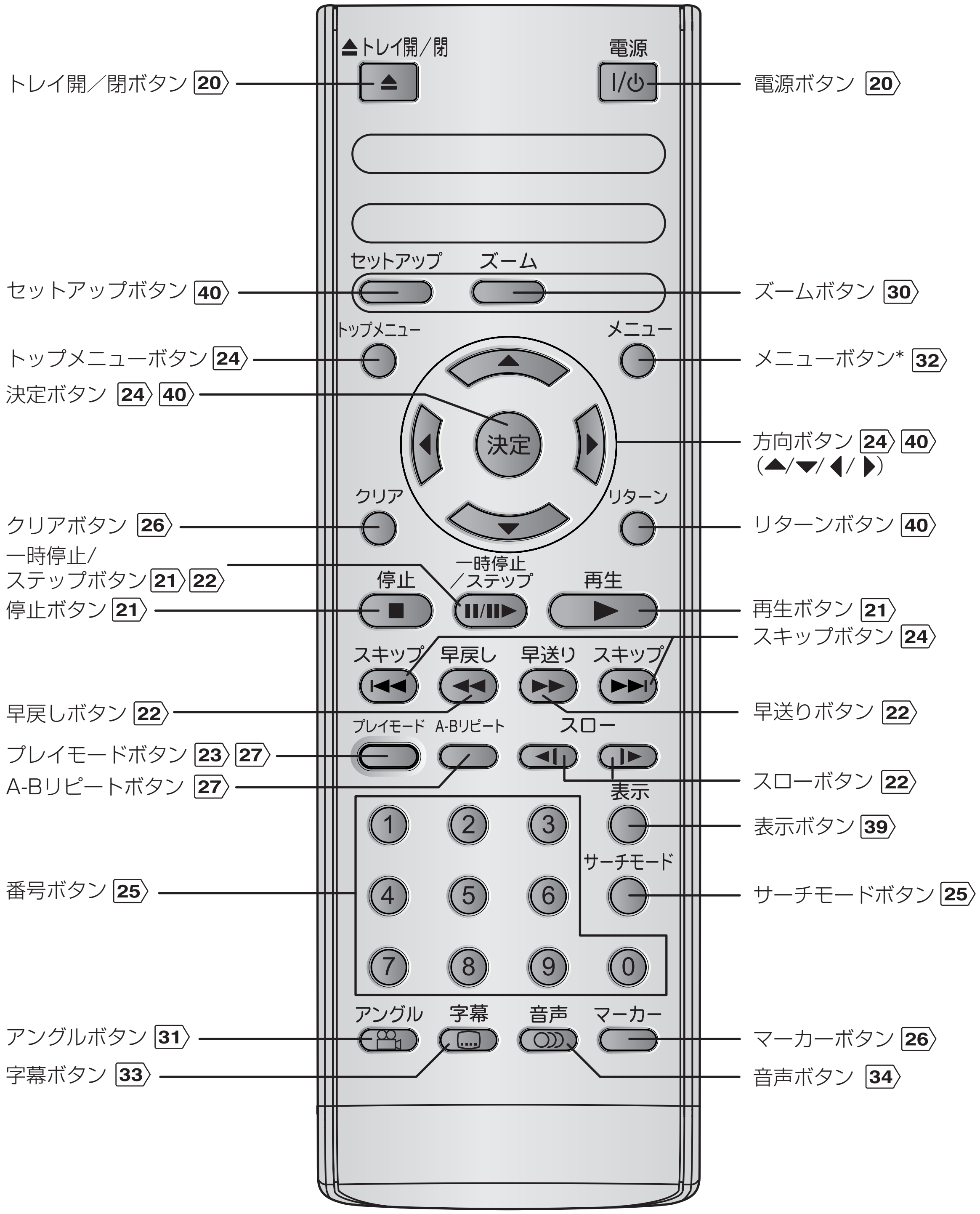


本機では再生できないディスク、または破損しているディスクです。

ディスクによっては上記以外の表示になることがあります。

本文の操作説明はリモコンを使っています。詳しくは、なまえの □〉 内のページをご覧ください。

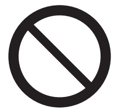
リモコン



***メニューボタン**
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューで頭出しする」 24〉 と同様の手順で行います。ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

各部のなまえと働き

⚠注意


禁　止

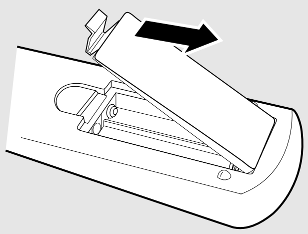
■リモコンに使用している乾電池は

- 指定以外の電池は使用しないこと
- 極性表示［（＋）と（－）］を間違えて挿入しないこと
- 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中にいれないこと
- 乾電池に表示されている［使用推奨期限］を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかないこと
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

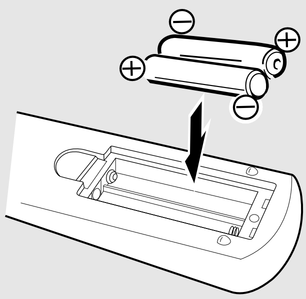
電池の入れかた

1 フタをはずす



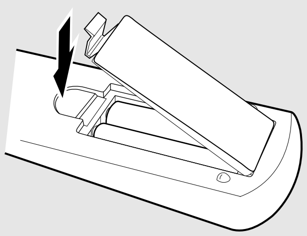
2 乾電池を入れる

単四形乾電池（R03）を２個使用します。



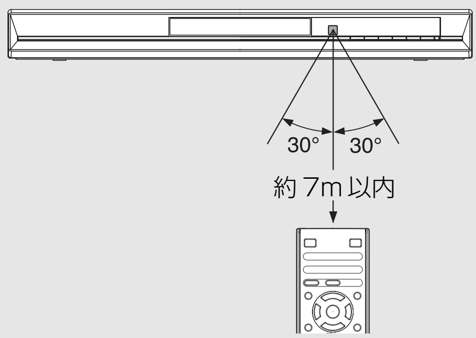
乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

3 フタを閉める



リモコンで操作するには

本体に向けてリモコンのボタンを押す



距離：リモコン受光部正面から約 7m 以内です。
角度：リモコン受光部から上下左右約 30 度以内です。

- リモコン受光部に、太陽光や蛍光灯など強い光が当たると、リモコンが動作しないことがあります。

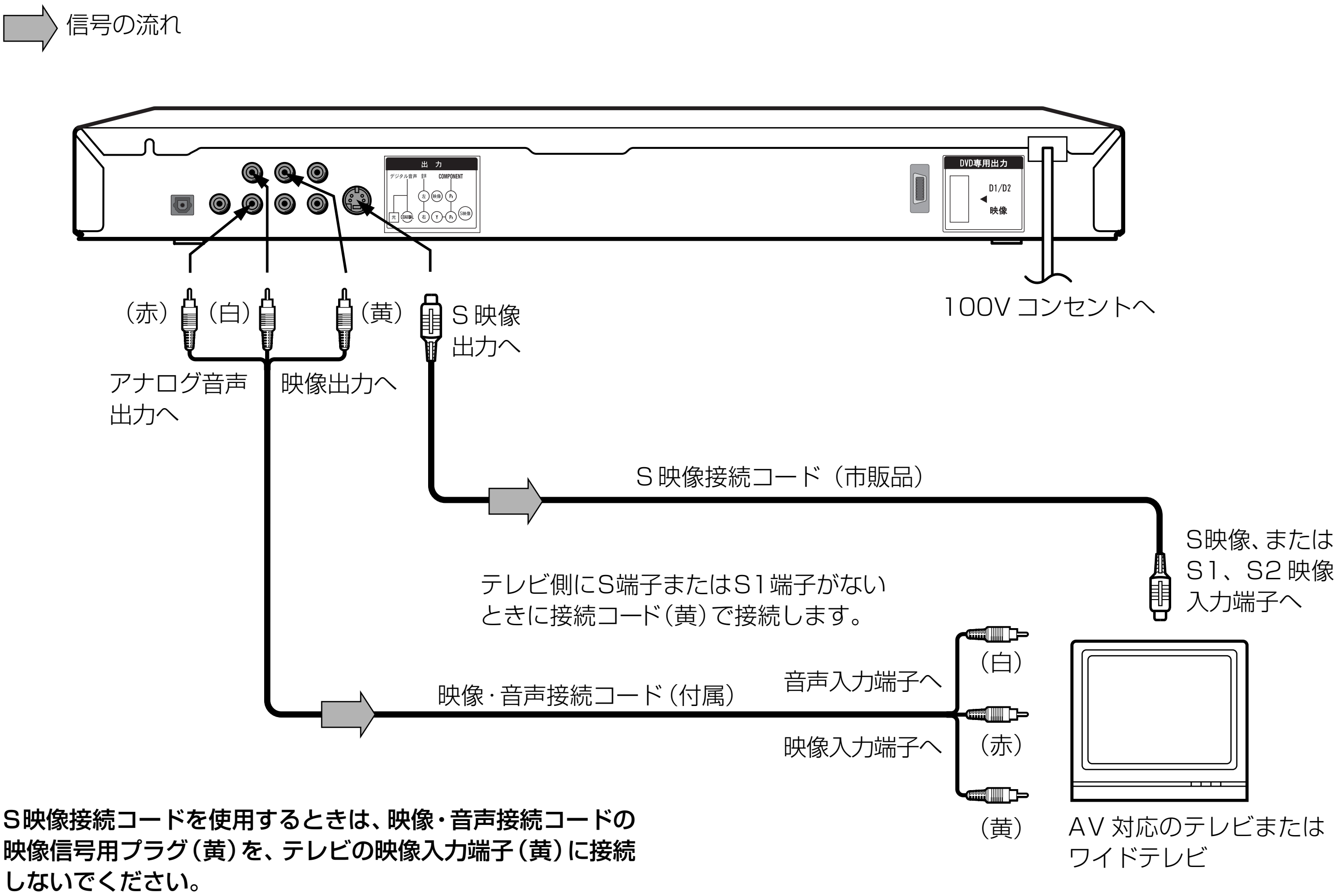
■ リモコンについて

- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。

テレビとの接続

本機の映像と音声をテレビで楽しむ場合に接続します。

テレビとの接続



S映像接続コードを使用するときは、映像・音声接続コードの映像信号用プラグ（黄）を、テレビの映像入力端子（黄）に接続しないでください。

お願い

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- テレビの音声入力端子がモノラルのときは、別売りの接続コード TSC-VA07 を使用して接続してください。
- 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクターなどを通してご覧になると、コピー防止機能の働きにより正常な画像にならないことがあります。

⚠ 警告

電源プラグは家庭用交流100Vのコンセントに接続すること。
交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

その他の接続方法

（DVDの映像をより高画質でお楽しみいただくとき）

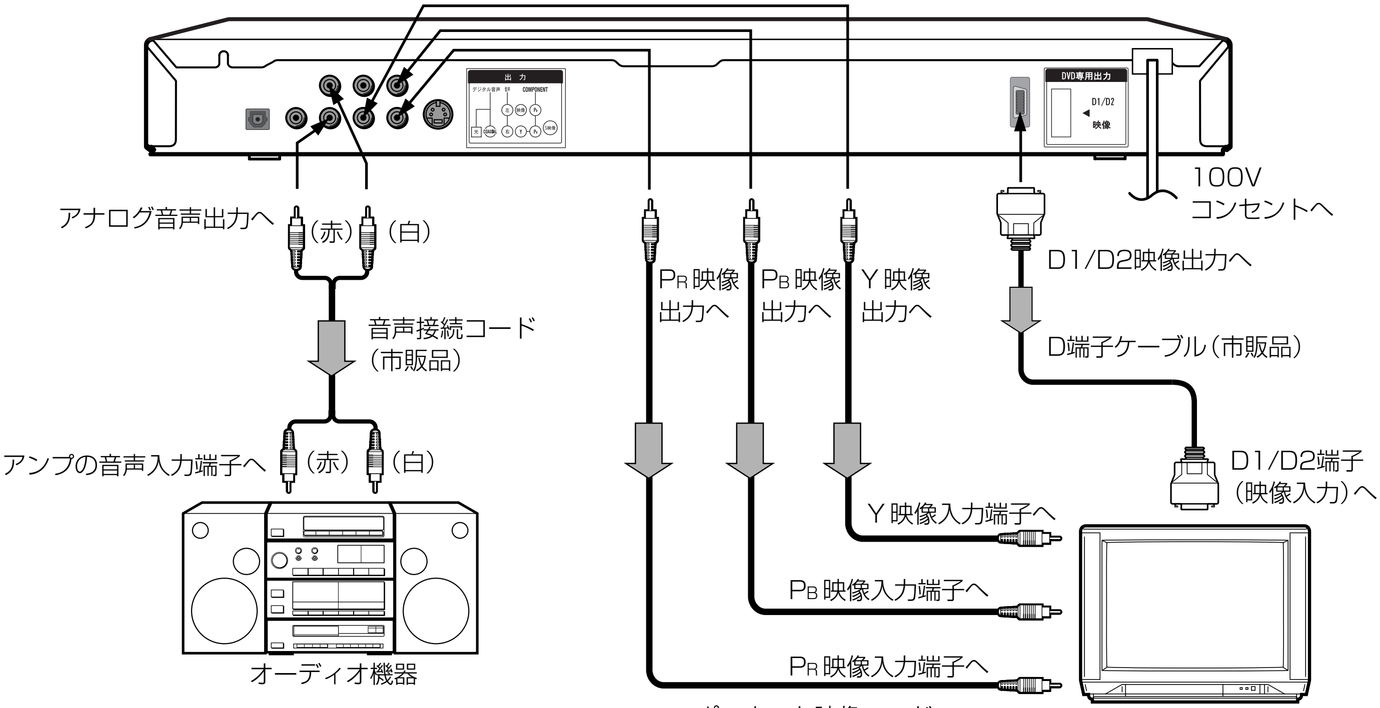
コンポーネント映像出力端子やD端子について

テレビやモニターなどには、コンポーネント映像入力端子（Y、CB、CR）やD端子が付いているものがあります。この端子に接続すると、より高画質で再生が楽しめます。コンポーネント映像入力端子の名称は、テレビやモニターにより異なります（例えばY、R-Y、B-Yなど）。

接続するテレビやモニターによって、再生する画像の色が薄くなったり色相が変わることがあります。このときには、テレビやモニター側で調整してください。

オーディオ機器／コンポーネント映像入力端子/D端子付きテレビとの接続

信号の流れ



コンポーネント映像入力端子またはD端子を使ってテレビと接続するときは、映像・音声接続コードの映像信号用プラグ（黄）を、テレビの映像入力端子（黄）に接続しないでください。

■ **出力信号（インターレース/プログレッシブ）の切り換えかた**

本機のコンポーネント映像出力端子／D1/D2映像出力端子からは、インターレースとプログレッシブのどちらかのスキャン方式の映像信号が出力されます。接続したテレビのスキャン方式に合った映像信号が出力されるよう、「初期設定の変更と機能の設定」40の「出力設定」43を設定し、信号の種類を選んでください。

お願い

- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器と接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- チューナーやラジオの近くに本機を置くと、AM放送に雑音が入ることがあります。このような場合は、チューナーやラジオとの距離を離してください。
- 本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。

警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと。感電の原因となることがあります。

オーディオシステムとつなぐ

お手持ちのオーディオシステムと接続して、DVD を迫力ある音響効果で楽しめます。

● 図中の記号の意味は以下のとおりです。

フロントスピーカー	センタースピーカー
サラウンドスピーカー	
サブウーファー	

お願い

- **接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。**
- **他の機器を接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**
- **本機からの音声出力は、広いダイナミックレンジがあります。突然の大音量によりスピーカーを破損することのないように、音量を確認しながら調節してください。**
- **本機の電源プラグをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、必ずステレオアンプの電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷めるおそれがあります。**

⚠ 警告

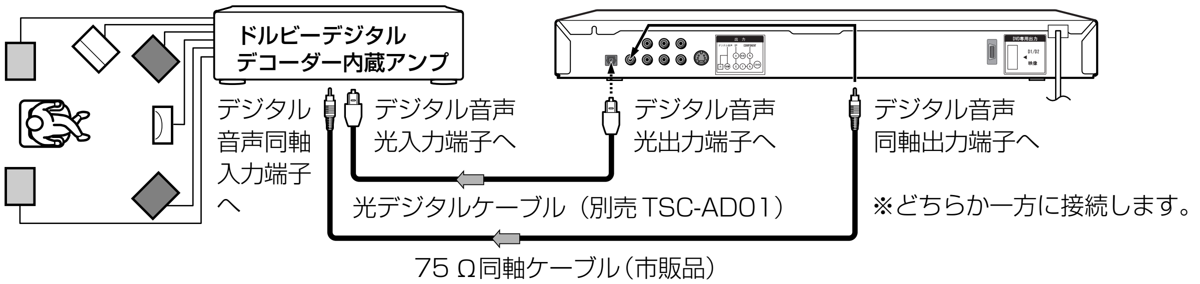
DTS 対応のディスク（音楽用CD）を再生すると、アナログ音声出力端子からは過度のノイズが出力されることがあります。オーディオ機器を本機のアナログ音声出力端子に接続している場合は、スピーカーなどを破損することのないよう十分ご注意ください。DTSデジタルサラウンド音声をお楽しみになるときは、必ず本機のデジタル音声光出力端子に DTS デジタルサラウンドデコーダーを接続してください。

ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプとつなぐ

ドルビーデジタル

最新の劇場公開映画で使われている代表的なサラウンド音響技術であるドルビーデジタルの臨場感が、ご家庭でも再現できます。本機とドルビーデジタルデコーダーを内蔵した６チャンネルアンプ、またはドルビーデジタルプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

● ドルビーデジタル対応の DVD ビデオディスクをお使いください。



オーディオシステムとつなぐ

ドルビープロロジック・サラウンド対応アンプとつなぐ

ドルビープロロジック・サラウンド

ドルビープロロジック・サラウンド対応アンプと、フロント、センター、サラウンドスピーカーを接続することにより、迫力ある臨場感で音声を楽しめます。

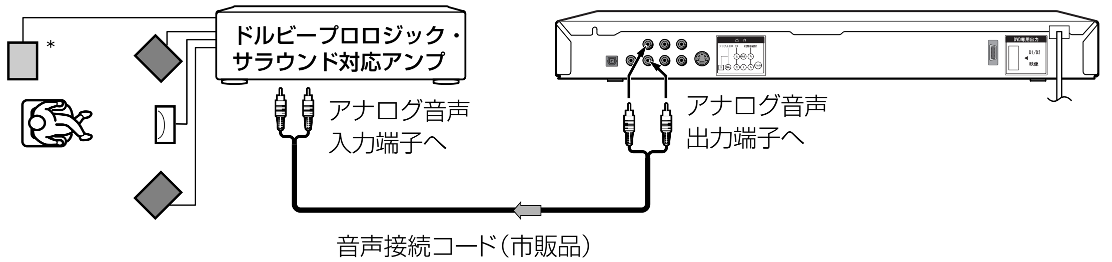
ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプでドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには

「ドルビーデジタルデコーダー内蔵アンプと接続する」と同じ接続をします。アンプの取扱説明書にしたがって、ドルビープロロジック・サラウンドが聞けるように設定してください。

ドルビーデジタルに対応していないアンプでドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには

以下のように接続してください。

＊ サラウンドスピーカーは1本または2本接続します。2本接続しても、音声はモノラルになります。



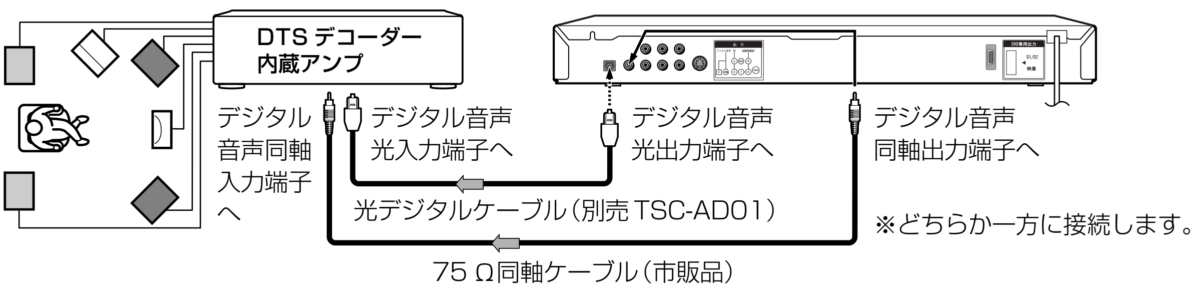
DTS デコーダー内蔵アンプとつなぐ

DTS

劇場公開映画などで使われている高品位のサラウンド音響技術であるDTSの臨場感が、DVDビデオディスクや音楽用CDで再現できます。本機とDTSデコーダーまたはDTSプロセッサーを接続して、DVDビデオディスクや音楽用CDの迫力ある5.1チャンネルDTSサラウンドを楽しめます。

DTSおよびDTS Digital Out はDigital Theater Systems, Inc. の商標です。

● DTS対応のDVDビデオディスクまたは音楽用CDをお使いください。

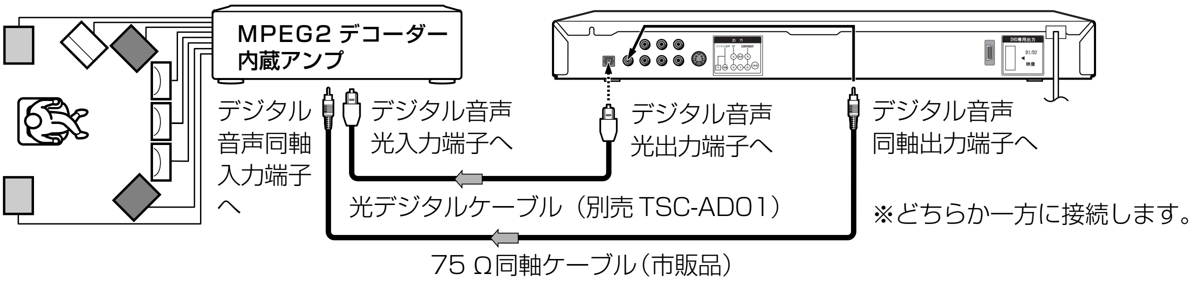


MPEG2 デコーダー内蔵アンプとつなぐ

MPEG2

本機と MPEG2 デコーダーを内蔵したアンプ、または MPEG2 プロセッサーを接続して、DVD ビデオディスクの映画やコンサートライブなどを、大迫力の臨場感で楽しめます。

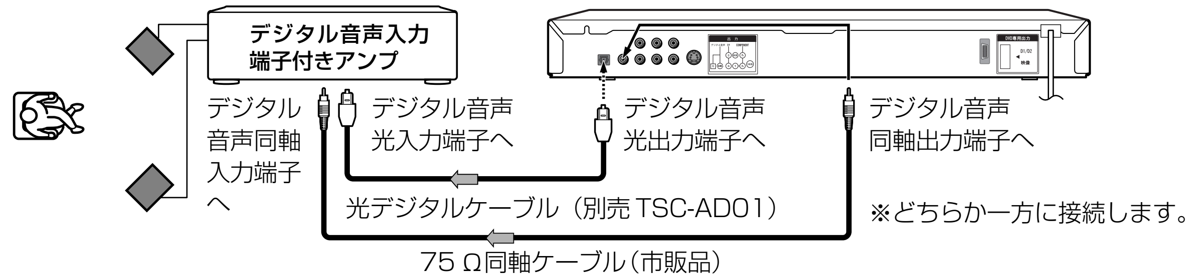
● MPEG2 対応の DVD ビデオディスクをお使いください。



デジタル音声入力端子付きアンプとつなぐ

2 チャンネルデジタルステレオ

デジタル音声入力端子付きアンプとスピーカーシステム（フロント右、左）につないで、2 チャンネルデジタルステレオの迫力ある音響効果を楽しめます。



DVD を見る DVD VCD CD

DVDビデオディスクは、ディスク制作者側の意図によって再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「✋」が表示されることがあります。
「✋」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

● ● ● お知らせ ● ● ●

より高画質でお楽しみいただくために

● DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネスコントロール）を下げるとノイズが減り、見やすくなります。

DVD VCD CD について

● この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。
DVD DVD ビデオディスクでお楽しみいただけます。
VCD ビデオ CD でお楽しみいただけます。
CD 音楽用 CD でお楽しみいただけます。

見る準備をする

● ディスクの映像を楽しむときは、テレビの電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。
● 音声をオーディオ機器で楽しむときは、オーディオ機器の電源を入れて、本機を接続している入力に切り換えます。





⚠ 注意

● **ディスクトレイに手を入れない**
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
● **ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。**

禁止

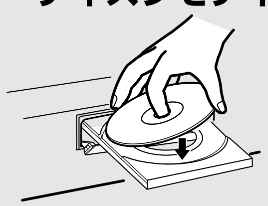
❶ リモコンの 電源 I/⏻ または本体の I/⏻電源 を押す

● 本機の電源がはいり、電源表示ランプが点灯します。

❷ リモコンの ⏏トレイ開／閉 ⏏ を押す または本体の ⏏トレイ開／閉

● ディスクトレイが開きます。
● 電源待機状態で「トレイ開/閉」ボタンを押すと、電源がはいりディスクトレイが開きます。

❸ ディスクをディスクトレイに置く



再生面を下にして置きます。

● 再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。
● 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに置かないでください。

4 **リモコンの ▲トレイ開/閉 [▲] または本体の [　] ▲トレイ開/閉 を押す**

- ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。
- トップメニューが記録されたDVDビデオディスクやプレイバックコントロール(PBC)付きビデオCDを再生したときは、メニュー画面が表示されます。「トップメニューで頭出しする」24〉をご覧ください。
- メニュー画面は、ディスクによって自動的に表示される場合と、「トップメニュー」ボタンや「メニュー」ボタンを押して表示させる場合があります。
- ディスクによっては自動で再生が始まらないものもあります。
- 音楽CDの場合は、ディスクメニュー39〉が表示されます。
- MP3/WMA/JPEG CDの場合は、ファイルメニュー37〉が表示されます。

5 **停止状態から再生を始めるには**

再生 [▶] を押す

- 電源待機状態で「再生」ボタンを押すと、電源がはいり、ディスクがはいっているときは再生が始まります。

再生を一時停止するには（静止画再生）

一時停止/ステップ [II/II▶] を押す

- 普通の再生に戻すには「再生」ボタンを押します。

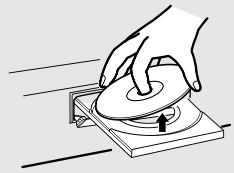
6 **再生をとめるには**

停止 [■] を押す

ディスクを取り出すには

リモコンの ▲トレイ開/閉 [▲] または本体の [　] ▲トレイ開/閉 を押す

- ディスクトレイが最後まで完全に開いてから、ディスクを取り出します。



- ディスクを取り出したあとは、「トレイ開/閉」ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

スクリーンセーバー機能について

再生が終わった後、メニュー画面などが表示されるディスクがあります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、テレビ画面に焼き付きが生じることがあります。本機ではこれを防ぐスクリーンセーバー機能が搭載されています。約５分一時停止状態が続くと、画面がだんだん暗くなり、その後だんだん明るくなります。この状態が繰り返されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- **ディスクを取り出さなかったときは、前に再生をとめたところから再生が始まります23〉。**
- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。
- ディスクトレイの出し入れは、ボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクトレイの前にものを置かないでください。ディスクトレイが開くときに、ものが倒れることがあります。
- DVDやCDが再生できないとき、「このディスクは再生できません」、「リージョンコードが違います」などが表示されます。このような表示をしたときは、ディスクのリージョン番号や、傷・汚れなどを確認してください。
また、ディスクによっては画面の表示に数分時間がかかる場合があります。
- DVDディスクによってはディスク制作者の意図により再生状態が決められており、本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。DVDディスク付属の取扱説明書を参照してください。

DVD を見る DVD VCD CD



DVD VCD CD 早戻し／早送りする

再生中に、リモコンの 早戻し ◀◀ / 早送り ▶▶ を押す

早戻し: 早戻しの再生
早送り: 早送りの再生

● 押すたびに、再生する速さが以下のように切り換わります。

早送り ▶▶ ボタン

▶▶ → ▶▶▶ → ▶▶▶▶ → ▶▶▶▶▶ → ▶▶

早戻し ◀◀ ボタン

◀◀ → ◀◀◀ → ◀◀◀◀ → ◀◀◀◀◀ → ◀◀

● 普通の再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● DVD ビデオディスクでの早送り、早戻し再生中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。音楽用 CD では音声は再生されます。
● 早送り早戻しの速さは再生するディスクによって異なります。

DVD VCD コマ送りで再生する

一時停止（静止画再生）中に、 一時停止／ステップ II/II▶ ボタンを押す

● 押すたびに、画像をコマ送りします。
● 普通の再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● コマ送り再生中は、音声は再生されません。
● 音楽 CD や MP3/WMA/JPEG CD では、コマ送り再生はできません。

DVD VCD スローモーションで再生する

再生中に、 スロー ◀I I▶ を押す

● 押すたびに、スローモーションの速さが以下のように切り換わります。
1/2 倍→1/4 倍→1/6 倍→1/7 倍→1/2 倍・・・
● 普通の再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● スローモーションで再生中は、音声は再生されません。
● 速さの表示はおおよそです。再生するディスクによっても異なります。
● VCD 逆方向へのスローモーション再生はできません。



● ● ● お知らせ ● ● ●

次のときは、続き再生の機能が働きません。

- PBC付きビデオCDを、「PBC」が「オン」の設定で再生しているとき
- ディスクトレイを引き出したとき

ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。

DVD VCD CD 中断したあとの続きを再生する（続き再生）

❶ 再生を中断する位置で、停止［■］を押す

- 「■▶」が画面に約４秒間表示されます。

❷ 再生［▶］を押す

- 再生を中断した位置から再生が始まります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 再生を停止しても、ディスクは常に回転しています。このため、もしディスクを挿入した状態で本機に衝撃を加えると、ディスクが破損したり本機が故障する原因となりますのでご注意ください。

続き再生をしないで始めから再生する

❶ 停止［■］を２回押す

- 続き再生が解除され、完全に停止します。

❷ 再生［▶］を押す

- DVD タイトルの始めから再生されます。
- VCD CD ディスクの始めから再生されます。
- DVDビデオディスクをディスクの始めから再生したいときは、「トレイ開／閉」ボタンを押して一度ディスクトレイを引き出した後で、再生をしてください。

VCD PBCを「オフ」にするには

❶ 停止中にプレイモード［ ］を押す

❷ [モード]が選ばれているか確認し、◀ または ▶ を押して、「オフ」を選ぶ

- 停止中に番号ボタン（0－9）でトラックを選び、「決定」または「再生」ボタンを押してもPBCは「オフ」になり、選ばれたトラックから再生を始めます。
  トラックが１つしかないディスクの場合は、番号ボタン「1」を押します。

モード	:	オフ
リピート	:	オフ
◀▶▲▼/プレイモード		

PBCを「オン」に戻すには

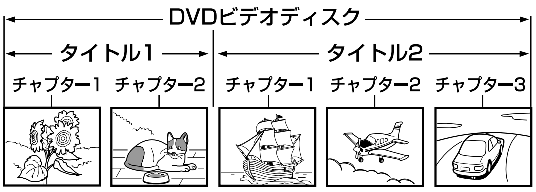
- 手順❷で「PBC」を選択します。

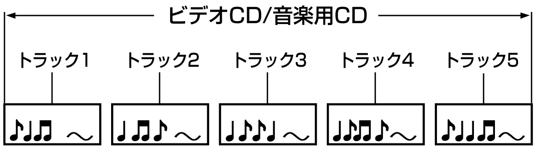
頭出しサーチ

再生したいタイトルやチャプター、トラックを簡単に頭出しできます。



一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

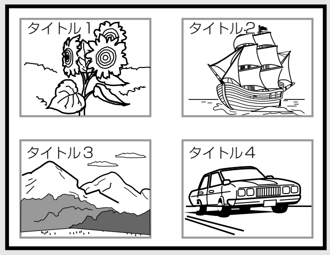




DVD トップメニューで頭出しする

1 **停止中または再生中に、トップメニュー を押す**

例



- トップメニューが表示されます。
- PBC付きビデオCDでは、再生中に「リターン」ボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

2 **◀、▲、▼、▶ を押して、再生したいタイトルを選ぶ**

- トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタン(0–9)で直接選ぶことができます。

3 **決定 を押す**

- 選んだタイトルのチャプター1から再生が始まります。

DVD VCD CD 前後のチャプター／トラックを頭出しする

スキップ ⏮、スキップ ⏭ をくり返し押して、再生したいチャプター / トラック番号を出す

- 選んだチャプター / トラックから再生が始まります。

スキップ ⏭　一つ先のチャプター / トラックの先頭から再生します。

スキップ ⏮　現在のチャプター / トラックの先頭から再生します。
連続して二度押しすると、一つ前のチャプター / トラックの先頭から再生します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「決定」ボタンを押さずにもう一度「トップメニュー」ボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。(ディスクによって異なります。)
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った頭出しはできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンをタイトルボタンと呼んでいる場合があります。



● ● ● お知らせ ● ● ●

- 「クリア」ボタンを押すと、番号や時間の表示は設定前に戻ります。表示そのものを消すときは、「サーチモード」ボタンを押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- ディスクによっては、番号や時間を指定して頭出しすることができないことがあります。
- PBC付きビデオCDを、「PBC」が「オン」の状態で再生しているときは、番号や時間を指定して頭出しすることはできません。
- 続き再生の機能が働いていない停止中は、時間を指定して頭出しすることができません。
- MP3/WMA/JPEG CDではサーチモードの操作ができません。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。

DVD VCD CD 番号 / 時間を指定して頭出しする

ディスクに記憶されているタイトルやチャプター、トラック、時間を指定して、簡単に頭出しができます。

1 停止中または再生中に、サーチモード ◯ を押す

2 ▲ または ▼ を押して、タイム、チャプター、タイトルまたはトラックを選択する

DVD

タイム	: --:--:--	01:46:38 / 02:12:19
タイトル	: ---	1/12
チャプター	: ---	30/36

▲▼/決定/0-9/クリア/サーチモード

例：チャプターを頭出ししたいとき

VCD/CD

タイム	: --:--:--	02:48 / 26:29
トラック	: ---	1/6

▲▼/決定/0-9/クリア/サーチモード

例：トラックを頭出ししたいとき

3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ を押して、時間または番号を入力する

タイム	: --:--:--	01:46:38 / 02:12:19
タイトル	: ---	1/12
チャプター	: 12-	30/36

▲▼/決定/0-9/クリア/サーチモード

4 決定 を押す

- 指定したところから再生が始まります。

頭出しサーチ

再生（応用編）

マーキングのしかた

好きな場面にマーキングすることで、その位置から再生を開始できます。



場面のマーキングと再生のしかた

1 **再生中に、マーカー を押す**

2 **▲ または ▼ を押して、書き込まれていないマーカーを選ぶ**

マーカー　1：＊＊：＊＊：＊＊
マーカー　2：＊＊：＊＊：＊＊
マーカー　3：＊＊：＊＊：＊＊
▲▼/決定/クリア/マーカー

3 **好きな場面で 決定 を押す**

● 押したときの時間が設定されます。

マーカー　1：00：21：54
マーカー　2：＊＊：＊＊：＊＊
マーカー　3：＊＊：＊＊：＊＊
▲▼/決定/クリア/マーカー

4 **再度、マーカー を押す**

● 通常の画面に戻ります。
● 好きな場面を３つまでマーキングすることができます。

5 **再生中または停止中に、マーカー を押す**

マーカー　1：00：21：54
マーカー　2：01：16：25
マーカー　3：02：08：31
▲▼/決定/クリア/マーカー

6 **▲ または ▼ を押して、マーカー１～３の中から見たいマーカーを選ぶ**

7 **決定 を押す**

● 選んだマーカーからの再生が始まります。

マーキングの取り消しかた

1 **再生中または停止中に、マーカー を押す**

2 **▲ または ▼ を押して、取り消したいマーカーを選ぶ**

3 **クリア を押す**

4 **マーカー を押す**

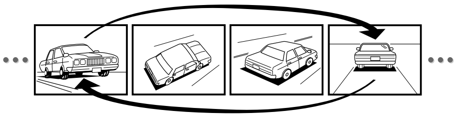
● 通常の画面に戻ります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● DVD にはディスクによってマーキング操作ができない箇所があります。
● 本体の電源を切った場合、またはディスクトレイを開けた場合、マーキングは取り消されます。
● マーキングした場面付近の字幕は表示されないことがあります。
● MP3/WMA/JPEG CD では、マーキング操作ができません。

くり返して再生する

タイトルやチャプター、トラック、再生したい部分だけをくり返し再生できます。





● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては、くり返し再生ができないものがあります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては、A-B間のくり返し再生ができないものがあります。
- 同じタイトルの中だけで、A-B間のくり返し再生の設定ができます。
- タイトル、チャプター、トラックのくり返し再生中は、A-B間のくり返し再生をすることはできません。
- マルチアングル31で記録されている部分では、A-B間のくり返し再生はできません。
- ディスクによって、くり返し再生したときの始点(A)の位置が変わることがあります。
- MP3/WMA/JPEG CDでは、A-Bリピート操作ができません。

DVD VCD CD タイトル、チャプター、トラックをくり返し再生する

1

停止中または再生中に、プレイモード を押す

DVD

リピート	:	オフ
◀▶/プレイモード		

VCD/CD

モード	:	オフ
リピート	:	オフ
◀▶▲▼/プレイモード		

2

◀ または ▶ でくり返したい項目を選ぶ

- 音楽CDまたはビデオCDの場合は「▲/▼」ボタンで「リピート」を選択してから選びます。
- ボタンを押すたびに、くり返し再生の種類が変わります。

DVD チャプターリピート	同じチャプターをくり返し再生します。
↓	
DVD タイトルリピート	同じタイトルをくり返し再生します。
VCD CD トラックリピート	同じトラックをくり返し再生します。
↓	
VCD CD オールリピート	ディスク全体をくり返し再生します。
↓	
リピートオフ	普通の再生に戻ります。

3

プレイモード を押す

- 通常の画面に戻ります。

普通の再生に戻すには

- 手順 ❷ で「オフ」を選びます。

DVD VCD CD 範囲を指定してくり返し再生する

再生したい部分を何度でも再生することができます。

1

再生中に、くり返し再生したい範囲の始点（A）で、A-Bリピート を押す

A−

2

くり返し再生したい範囲の終点（B）で、A-Bリピート を押す

- 自動的にA点に戻り、指定した範囲（A-B間）のくり返し再生が始まります。

普通の再生に戻すには

- もう一度「A-B リピート」ボタンを押します。

ランダム再生

トラックを順不同に再生できます。



VCD CD トラックを順不同に再生する

1 停止中または再生中に、プレイモード を押す

2 [モード]が選ばれているか確認し、◀ または ▶ を押して、「ランダム」を選ぶ



3 再生 ▶ を押す

- ランダム再生が始まります。
- 再生中に「ランダム」を選んだときは、現在再生中のトラックが再生終了後、ランダム再生が始まります。

普通の再生に戻すには

- 手順 ❷ で「オフ」を選択します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては、ランダム再生ができないものがあります。

プログラム再生

再生したいトラックを組み合わせ、好きな順番で再生できます。



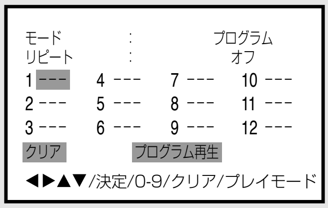
好きな順番で再生する（プログラム再生）

1 **停止中に、**（プレイモード）**を押す**

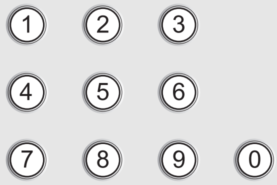
● 再生中はプログラムを設定することはできません。

2 **［モード］が選ばれているか確認し、◀ または ▶ を押して、「プログラム」を選ぶ**

3 ◀、▲、▼、▶ **でプログラムする場所を選ぶ**



4



を押して、再生したいトラックを入力する

● 間違えたときは、「クリア」ボタンを押してください。

5 ◀、▲、▼、▶ **を押して、「プログラム再生」を選んだのち、**（決定）**を押す**

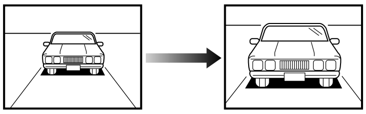
● プログラム再生が始まります。
●「停止」ボタンで停止しても、「再生」ボタンを押すと、再び、プログラム再生が始まります。
● **プログラム再生を停止したいときは、**手順 ❷ で「オフ」を選び、「プレイモード」ボタンを押します。（プログラムはディスクを取り出すか電源を切るまで残ります。）
● **プログラムを取り消すには、**再生を停止し、手順 ❸ で「クリア」を選んでから、「決定」ボタンを押します。
「プレイモード」ボタンを押すと、ディスクメニュー画面に戻ります。

お知らせ

● ディスクによっては、プログラム再生できないものがあります。
● 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開けたときは、設定したプログラム内容が解除されます。

ズーム再生する DVD VCD

画面を拡大(ズーム再生)できます。

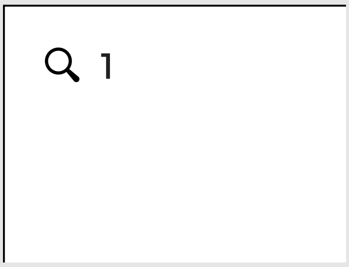




再生中または一時停止中に、ズーム を押す

● アイコンが表示されズーム再生になります。

例



「ズーム」ボタンをくり返し押すと、さらに大きく拡大できます。

→ 🔍1 → 🔍2 → 🔍3 → 🔍解除 ─┐(最初に戻る)

●「▲/▼/◀/▶」ボタンを押すごとに、ズームする部分を移動させることができます。

普通の再生に戻すには

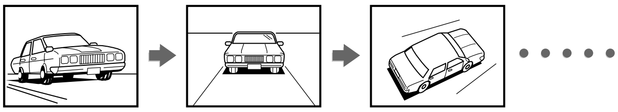
● 画面表示が「🔍 解除」になるまで、「ズーム」ボタンをくり返し押します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
● 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
● 字幕やメニューの選択表示(マーク)などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。

アングルを切り換える DVD

複数の角度（マルチアングル）で記録されている場所では、その中から画像を好きなアングルに切り換えられます。

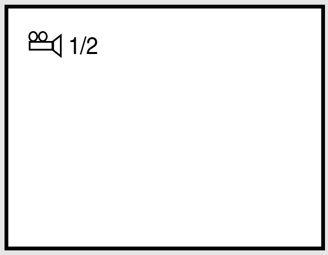




❶ 再生中に、アングル を押す

- 現在のアングルが表示されます。
- マルチアングルで記録されている部分を再生するときに、好きなアングルに切り換えることができます。

例



❷ アングル番号の表示中に、好きなアングルになるまで アングル をくり返し押す

- 押すたびに、アングルが切り換わります。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- 一時停止中もアングルを選べます。このときは再生をはじめてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- DVD ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、アングルを変更できない場合があります。

DVD のメニューを使う DVD

DVD には、DVD 独自のメニューが記録されているものがあります。ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択して再生できます。



1 メニュー **を押す**

● ディスクのメニューが表示されます。メニューの内容はディスクによって異なります。

2 ◀、▲、▼、▶ **または** ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ **を押して、項目を選ぶ**

3 決定 **を押す**

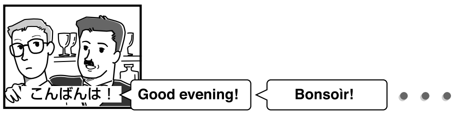
● 次のメニュー画面があるときは、項目をセットするまで手順 ❷ と手順 ❸ をくり返します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● DVD ディスクによっては、ディスク付属の取扱説明書内で“タイトルメニュー”が単に、“タイトル”または“メニュー”という名前で呼ばれる場合があります。
● DVD ディスクによっては、タイトルメニューを選ぶことができません。

字幕の表示を切り換える DVD

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、好きな字幕言語に切り換えられます。





1 再生中に、字幕 を押す

● 現在の字幕設定を表示します。

例

オフ

2 字幕言語の設定中に、字幕 を押す

● くり返し押して、好きな字幕言語を選びます。

例

1/3 Jpn

● 表示されない字幕言語は、ディスクに記録されていません。

● 字幕を非表示にするには、「オフ」が表示されるまで、くり返し「字幕」ボタンを押します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。

● 再生している場所によっては、「オン」を選んでも、すぐには字幕が表示されないことがあります。

● ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

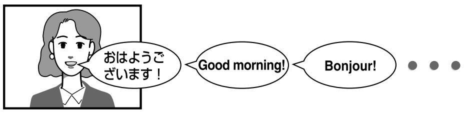
● ディスクトレイを開けた場合、切り換えた字幕言語は取り消され、初期設定言語になります。

● DVDディスクによって、字幕を「オフ」にすることができない場合や、複数の言語が記録されていても字幕言語を切り換えることができない場合があります。DVDディスクを再生中にタイトルを変更したり、ディスクトレイを開けたり閉めたりした場合、字幕言語が切り換わることがあります。

● 場合により、字幕言語を変更しても、すぐに切り換わらない場合があります。

音声を設定する

複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。





●　●　● お知らせ ●　●　●

- ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。41

DVD VCD 音声を切り換える

1 **再生中に、音声 を押す**

- 現在の音声設定を表示します。

例

1/2 Eng Dolby Digital
QSound　オフ

2 **音声設定の表示中に、音声 を押す**

- くり返し押して、好きな音声を選びます。

例

2/2 Jpn Dolby Digital
QSound　オフ

- 数回押して希望の音声にならないときは、その音声がディスクに記録されていません。
- ビデオCDの場合は、「音声」ボタンを押すごとに、以下のように換わります。

LR
QSound　オフ
→
L
QSound　オフ
→
R
QSound　オフ

DVD VCD CD QSoundの設定

内蔵のQSoundが働き、臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。

1 **再生中に、音声 を押す**

- 現在の設定を表示します。

1/2 Jpn Dolby Digital
QSound　オフ

2 **音声設定表示中に ◀ または ▶ を押して、「オン」・「オフ」を選ぶ**

1/2 Jpn Dolby Digital
QSound　オン

QSOUND ®

QSound社のライセンスに基づき、QSound社取得の米国特許番号5,105, 462:5, 208, 860:5, 440, 638、及びその他の特許(関連外国出願特許を含む)を使用して製造されています。著作権1998-2002年、QSound社。QXpander™はQSound社の登録商標です。著作権所有。

MP3／WMA対応 CD を再生する

MP3/WMA ファイルの再生ができます。



● ● ● お知らせ ● ● ●

- CD-DA ファイルと MP3/WMA ファイルが混在するCDの場合は、CD-DA ファイルだけが再生されます。
- 本機はファイル構成にもよりますが、MP3/WMAファイルを読み取るのに約1分かあるいはそれ以上かかる場合があります。
- ディスクによっては再生できないものがあります。
- 音楽データやMP3/WMAファイルがはいっていない CD-R/RW は再生できません。
- 頭出し 24、くり返し 27、ランダム 28、プログラム 29 の各再生機能も使えます。
- インターネットからMP3ファイルや音楽をダウンロードするためには、許諾が必要となりますのでご注意ください。

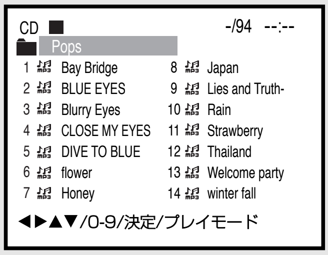
MP3/WMA 対応 CD の再生の準備をする

- ［リストファイル］の設定を「オール」または「音楽」に設定してください。43
- このDVDビデオプレーヤーに適合したMP3／WMA対応ディスクは以下のものに限られています。使用する前にお確かめください。

ディスクの種類：	CD-ROM、CD-R（650MB/74Min.のみ）（CD-RWディスクはおすすめできません。）
サンプリング周波数：	32 kHz ～ 48 kHz
ビットレート：	MP3: 32 kbps ～ 320 kbps　WMA: 48 kbps ～ 192 kbps
フォーマット：	MODE 1、MODE 2 および XA フォーム 1
ファイルシステム：	ISO9660 レベル 1、2 または Joliet “Hierarchical File System”(HFS)で記録された音楽ファイルは再生できません。
ファイル名：	英数字のみで構成され、末尾に拡張子「MP3」または「WMA」が付け加えられていること。(例「○○○○○○○○.MP3」、「○○○○○○○○.WMA」) “？！><＋＊｝｛｀［@］：；¥／．，” など、特殊な文字が使われていないこと。
最大表示文字数：	フォルダ名が 32 文字、ファイル名が 16 文字まで
フォルダの総数：	50 以下
ファイルの総数：	600 以下
WMA コーデック：	V7 または V8（ステレオ音声のみ）

MP3/WMA 対応 CD の再生

1 **MP3/WMA ファイルが記録されているディスクをディスクトレイに置き、≜トレイ開/閉［≜］を押す**



- ファイルメニューが表示されます。

2 **［◀］、［▶］または［決定］でフォルダを選び、［◀］、［▲］、［▼］、［▶］でファイルを選ぶ**

- ファイルは番号ボタン（0–9）でも選べます。

3 **［決定］を押す**

- 選んだ曲の再生が始まります。

再生を一時停止するには

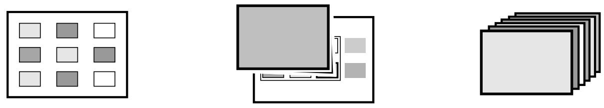
- 「一時停止」ボタンを押します。
- 普通の再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。

4 **再生をとめるときは、停止［■］を押す**

JPEG ファイルを再生する

CD-R に JPEG 形式で保存したファイルが再生できます。
サムネイル（縮小画像）での一覧表示、シングルイメージビュー、スライドショーの再生が楽しめます。画像の回転、拡大、移動もできます。





サムネイル表示　　シングルイメージビュー　　スライドショー

JPEG 対応 CD の再生の準備をする

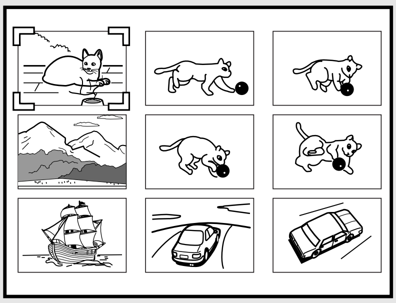
● ［リストファイル］の設定を、「オール」または「画像」に設定してください43〉。

JPEG 対応 CD の再生

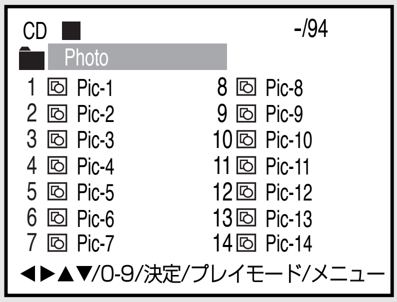
1 JPEGファイルが記録されているディスクをディスクトレイに置き、⏏（トレイ開／閉）を押す

● ディスクトレイが閉まり、ディスクの情報の読み込みが始まります。読み込みが終わると、ディスクの作り方により、サムネイル表示またはファイルメニューが表示されます。

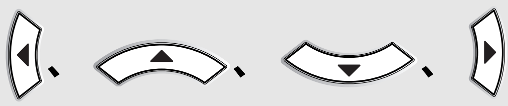
サムネイル表示
例



ファイルメニュー
例



● ファイルメニュー表示中に「メニュー」ボタンを押すと、サムネイルが表示されます。ファイルメニューに戻すには、サムネイル表示中に「トップメニュー」ボタンを押してください。

2  を押して、画像（ファイル）を選ぶ

サムネイル表示のとき

● 「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したい画像を選びます。

● 次のページまたは前のページへ移動するには、「▶▶|/|◀◀」ボタンを押します。

ファイルメニューのとき

● 「◀/▶」ボタンでフォルダを選び、「▲/▼/◀/▶」ボタンで再生したいファイルを選びます。

● ファイルは番号ボタン（0–9）でも選べます。

● 15ファイル以上あるときは、「◀/▶」ボタンを押して次のページまたは前のページに移動します。

3 画像の見かたを選ぶ
－シングルイメージビューで見る 37〉
－スライドショーで見る 38〉

● ● ● お知らせ ● ● ●

● 当社にて動作確認済みの対応ディスクは以下のとおりです（記載の社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です）。
　コダック　ピクチャーCD
　フジカラーCD
　これらのディスクの多くは、本機に入れるとサムネイル表示をします。

● 本機で対応できるJPEGディスクは以下のものに限られています。
- ディスクの種類：
  CD-ROM、またはCD-R （650MB/74 min.）
  CD-RW はお奨めできません。
- CD 物理フォーマット：
  Mode 1、Mode 2 または XA Form 1
- ファイルシステム：
  ISO9660 Level 1、Level 2 または Joliet
- ファイル名：
  英数字のみで構成され、末尾に「.JPG」の拡張子がつくこと。（例：＊＊＊＊＊＊＊＊.JPG）
  “？！><＋＊}｛`［@］：; ￥／.，” など、特殊な文字が使われていないこと。
- 最大表示文字数： フォルダ名が 32 文字、ファイル名が 16 文字まで
- フォルダの総数： 50 以下
- ファイルの総数： 600 以下

● ファイルのサイズによっては、画像の一部が表示されないことがあります。また、ディスクを読み込む際、キーが効かない場合があります。



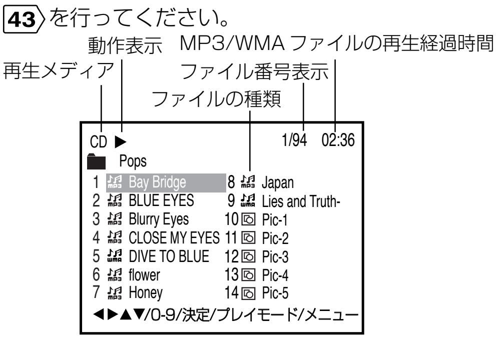
● ● ● お知らせ ● ● ●

●ファイルのサイズによっては画像の一部が表示されない場合があります。

ファイルメニューについて

ファイルメニューは、MP3/WMAファイルとJPEGファイルを表示します。MP3/WMAファイルとJPEGファイルが混在するCDの場合、両方をファイルメニューに表示します。

MP3/WMAまたはJPEGのいずれか一方のファイルだけを表示したい場合は、リストファイルの設定 43 を行ってください。



MP3 ：MP3ファイルを表します。

WMA ：WMAファイルを表します。

：JPEGファイルを表します。

シングルイメージビュー

1 サムネイルまたはファイルメニュー表示中に、◀、▲、▼、▶ を押して、画像（ファイル）を選ぶ

2 決定 を押す

● 選んだ画像（ファイル）が単独で再生（表示）されます。

■ 画像を切り換える

次の画像を見るときは、スキップ ▶▶| を押す

前の画像に戻るときは、スキップ |◀◀ を押す

■ 画像を拡大する

ズーム を押すたびに、以下のように倍率が変わります

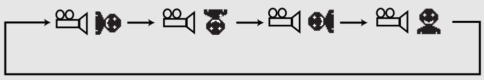
→ 1 → 2 → 3 → 解除 →

●「▲/▼/◀/▶」ボタンでズーム再生中の画像を上下左右に移動させることができます。

● 別の画像（ファイル）に変えると、ズームは解除されます。

■ 画像を回転させる

アングル を押すたびに、画像が以下のように時計回りに90度回転します

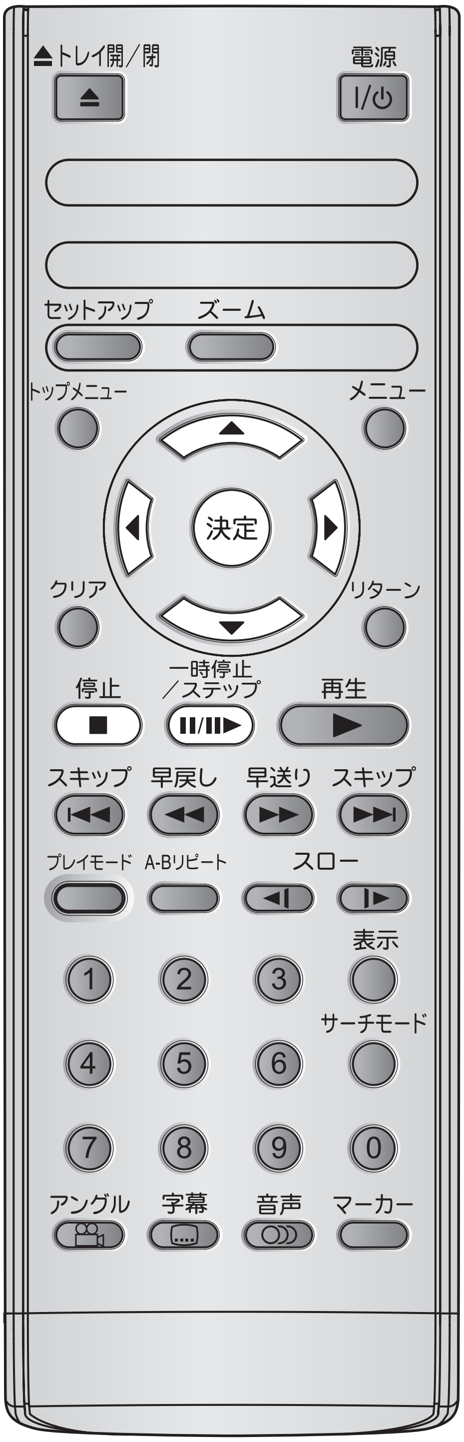


● アングルを一度変更した画像は、電源を切るかディスクを取り出すまで同じアングルで表示されます。

3 停止 ■ を押して、再生を終了する

● サムネイル表示またはファイルメニューが表示されます。

JPEG ファイルを再生する



スライドショー

スライドショー再生の準備をする

● ［スライドショー］を「5 秒」、「10 秒」または「15 秒」に設定してください 42。

1 **サムネイルまたはファイルメニュー表示中に、◀、▲、▼、▶ を押して、画像（ファイル）を選ぶ**

2 決定 **を押す**

● 選んだ画像（ファイル）からスライドショーが始まります。
● サムネイル表示で画像を選んだときは、「再生」ボタンを押してもスライドショーが始まります。

■シングルイメージビューにする（スライドショーを一時停止する）

一時停止／ステップ **を押す**

■ 画像を拡大する

37 ページをご覧ください。

■ 画像を回転させる

37 ページをご覧ください。

3 停止 **を押して、再生を終了する**

●「停止」ボタンを押した後に「再生」ボタンを押すと、スライドショーが再開します。

使用状態の見方 DVD VCD CD

ディスクの使用状態や本機の操作内容などを、画面で確認できます。

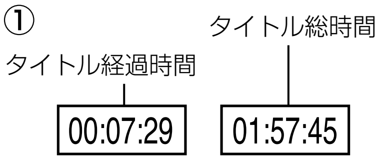


再生中に、表示〇 を押す

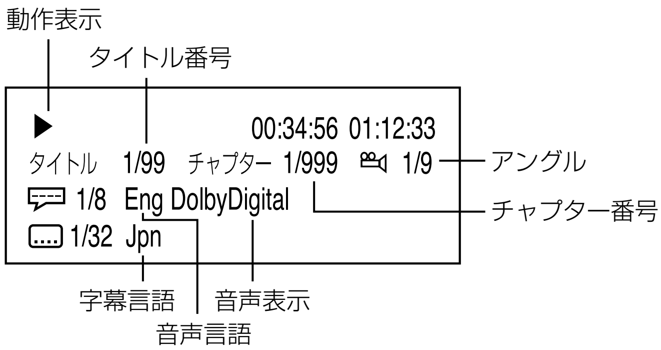
- 以下のような表示が出ます。
- 「表示」ボタンを押すたびに、表示内容が変わります。

[DVD]

①

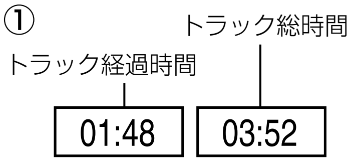


②

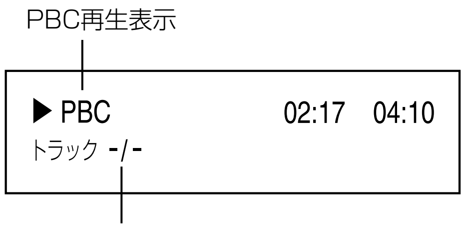


[ビデオCD]

①



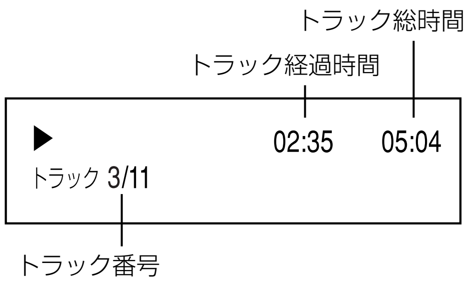
②



PBC再生時は、トラック番号
は表示されません。

[音楽CD]

ディスクを入れると自動的にディスクメニューを表示をします。



初期設定の変更と機能の設定

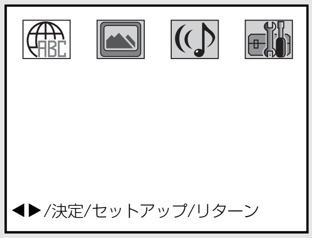
本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。



DVD VCD CD 設定のしかた

1 停止中に、セットアップ を押す

● 機能設定画面が表示されます。



2 ◀ または ▶ を押して設定したい項目のグループを選び、▼ または 決定 を押す

● 各グループの設定項目が表示されます。（下の表をご覧ください。）

3 ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選ぶ

4 41ページ以降の説明を参照して、◀ 、▶、 決定 などで設定する

5 手順❸、❹ をくり返して、他の項目を設定する

● 他のグループにうつるときは、手順 ❷ に戻ってください。

6 セットアップ を押す

● 画面が消え、設定は終わりです。

● ● ● お知らせ ● ● ●

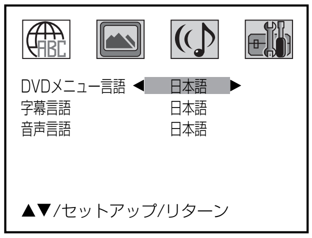
● 機能設定画面は「リターン」ボタンを押しても消えます。
● 機能設定画面は再生中に「セットアップ」ボタンを押しても表示されません。
● 項目によっては、設定した内容がすぐに有効にならない場合があります。

項目		設定内容	設定の詳細ページ
言語設定			
DVD メニュー言語	DVD	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	41
字幕言語	DVD	記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	41
音声言語	DVD	記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	41
映像設定			
DVD 出力設定	DVD	接続してある TV の形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	42
画面表示	DVD VCD CD	本機の動作状態を画面に表示するかどうかを設定します。	42
映像モード	DVD	DVD に記録されている映像のタイプに適した調整をします。	42
スライドショー	CD	JPEG ファイルの連続再生間隔を設定します。	42
音声設定			
Dialogue	DVD	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	42
QSound	DVD	QSound を使ったサラウンド機能の入／切を設定します。	42
システム設定			
パスワード	DVD	視聴制限機能の内容を変更するときに必要なパスワードを入力します。	43
視聴制限	DVD	視聴制限機能の内容や入 / 切を設定します。	43
リストファイル	CD	ファイルメニュー画面に表示させるファイルの種類を設定します。	43
出力設定	VCD DVD	出力信号をインターレースまたはプログレッシブから選べます。	43

設定の内容



言語設定



■ DVDメニュー言語 DVD

日本語： 日本語でDVDメニューを表示します。
その他： DVDメニューを表示する言語を選ぶことができます。

■ 字幕言語 DVD

日本語： 日本語で字幕を表示します。
オフ： 字幕を表示しません。
その他： 字幕を表示する言語を選ぶことができます。

■ 音声言語 DVD

日本語： 日本語で音声を再生します。
オリジナル： そのディスクの初期設定の音声言語になります。
その他： 音声を再生する言語を選ぶことができます。

● 言語設定で「その他」を選んだ場合は、以下の手順1)～4)を行ってください。
1)「言語コード表」44で、希望の言語のコードを確認する
2) 番号ボタン(0–9)で、コードを入力する
3)「決定」ボタンを押す
4)「セットアップ」ボタンを押す

● ● ● お知らせ ● ● ●

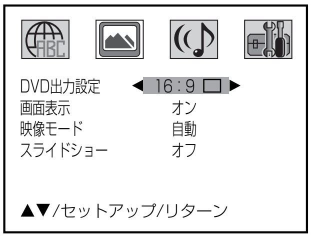
- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、メニューボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

初期設定の変更と機能の設定

映像設定



■ DVD 出力設定 (DVD)

4:3 ▭ (レターボックス)： お手持ちの4：3テレビを本機に接続しているときに選びます。テレビ画面に対して横長に再生映像を表示します。上下に黒い帯が付きます。

4:3 ▯ (パンスキャン)： お手持ちの4：3テレビを本機に接続しているときに選びます。画面の片側または両側の映像部分がカットされます。

16:9 ▭ (ワイド)： お手持ちのワイド画面テレビを本機に接続しているときに選びます。ワイド画面の映像はフルサイズで表示されます。

■ 画面表示 (DVD)(VCD)(CD)

オフ： 設定画面とエラー表示及び、「表示」ボタンで表示する画面39以外は画面に表示しません。

オン： ディスクの動作状態を画面に表示します。

■ 映像モード (DVD)

DVDビデオディスクの記録内容には、一般的にフィルム素材（1フレーム24コマ秒で記録）とビデオ素材（1フレーム30コマ秒で記録）の2種類があります。再生する記録内容の種類に合わせて設定します。

自動： DVDに記録されている映像のタイプを自動的に判断して、最適な映像にします。

フィルム： 映画など、フィルムから製作されたDVDを見るのに適した映像にします。

ビデオ： ビデオで製作されたDVDを見るのに適した映像にします。

■ スライドショー (CD)

オフ： スライドショー再生はしません。

5秒： 5秒間隔でスライドショー再生します。

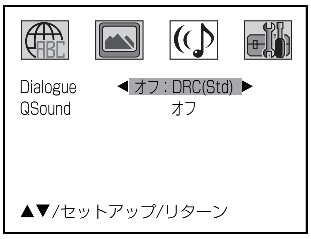
10秒： 10秒間隔でスライドショー再生します。

15秒： 15秒間隔でスライドショー再生します。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- DVDビデオディスクには、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状通りに再生されないことがあります。
- 4:3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4:3の画面形状で再生されます。
- 4:3のテレビを本機に接続した状態で「16:9ワイド」を選ぶと、再生画面に水平方向の歪みや縦方向の縮みが生じます。お使いのテレビに合わせて設定を行ってください。

音声設定



■ Dialogue (DVD)

オフ：DRC(Std)： ディスクに記録されている音量で再生します。

オン：DRC(TV)： テレビと接続し、音量が小さいと感じるときに設定します。

■ QSound (DVD)

オン： 内蔵のQSoundが働き、臨場感あふれるサラウンドが楽しめます。

オフ： QSoundをオフにします。

● ● ● お知らせ ● ● ●

- ドルビーデジタルで再生しているときだけ、Dialogue機能が働きます。
- 効果のレベルはディスクによって変わります。
- QSoundのオン／オフはリモコンの「音声」ボタンによっても切り換えることができます。34
- QSound機能はDTSで再生しているときは働きません。

お願い

● ディスクによっては、視聴制限に対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定した視聴制限の機能が働くことを確認してください。

● ● ● お知らせ ● ● ●

● パスワードを忘れた場合は視聴制限を解除できません。このようなときは、以下の方法でパスワードを解除してください。
1. 電源が「入」の状態でディスクがはいっていないことを確認します。
2. 本体の「停止(■)」ボタンを押したまま、リモコンの番号ボタン「7」を押します。テレビの画面に“PASSWORD CLEAR”と表示され、視聴制限のパスワードが解除されます。

● ● ● お知らせ ● ● ●

インターレース(飛び越し走査)方式

● 奇数走査線と偶数走査線を交互に表示する方法で、525I(I:インターレース)といわれています。

プログレッシブ(順次走査)方式

● 奇数走査線と偶数走査線を同時に表示する方法で、525P(P:プログレッシブ)といわれています。

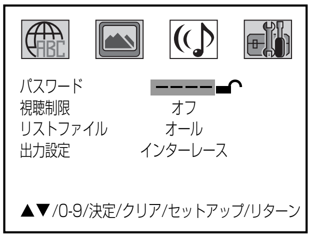
● ● ● お知らせ ● ● ●

● ディスクによっては、画面が途切れたり、映像が二重にぶれて見えることがあります。このときには、プログレッシブモードを解除してください。

プログレッシブモードを出力設定を使わずに解除するには

● 映像出力端子/S映像出力端子から映像を出力しているとき、出力設定を「インターレース」から「プログレッシブ」に切り替えると、画面がまっ暗になります。このときには、本体の「停止(■)」ボタンを約5秒間押し続けるか、電源プラグを抜き差してください。出力設定が「インターレース」に切り替わり、スタートアップ画面が表示されます。

システム設定



■ パスワード DVD

視聴制限の設定/解除/変更のときに番号ボタン(0–9)で入力します。

■ 視聴制限 DVD

視聴レベルのめやすは次のとおりです。

レベル(1〜8)のめやす

レベル1: 子供向け
レベル2〜3: 小〜中学生以上
レベル4〜7: 高校生以上
レベル8: 成人向け
オフ: すべてのソフトウェアが再生可能です。

■ リストファイル CD

ファイルメニューにリストするファイルの種類を選択します。

オール: 全ファイルを表示します。
音楽: MP3/WMA ファイルのみ表示します。
画像: JPEG ファイルのみ表示します。

■ 出力設定 DVD

プログレッシブ対応のテレビを本機に接続しているときに設定します。従来方式の(プログレッシブ方式ではない)テレビを本機に接続しているときは、「インターレース」にしてください。

インターレース: インターレース方式の映像信号を出力します。
プログレッシブ: プログレッシブ方式の映像信号を出力します。

言語コード表

言語名	コード	言語名	コード	言語名	コード	言語名	コード
アイスランド語	1929	カンボジア語	2123	タジク語	3017	ブルガリア語	1217
アイマラ語	1135	ギリシア語	1522	タタール語	3030	ブルターニュ語	1228
アイルランド語	1711	キルギス語	2135	タミル語	3011	ベトナム語	3219
アゼルバイジャン語	1136	グアラニー語	1724	チェコ語	1329	ヘブライ語	1933
アッサム語	1129	グジャラト語	1731	チベット語	1225	ペルシャ語	1611
アファル語	1111	グリーンランド語	2122	ティグリニア語	3019	ベロルシア語	1215
アブハジア語	1112	グルジア語	2111	テルグ語	3015	ベンガル(バングラ)語	1224
アフリカーンス語	1116	クルド語	2131	デンマーク語	1411	ポーランド語	2622
アムハラ語	1123	クロアチア語	1828	ドイツ語	1415	ポルトガル語	2630
アラビア語	1128	ケチュア語	2731	トウイ語	3033	マオリ語	2319
アルバニア語	2927	コーサ語	3418	トルクメン語	3021	マケドニア語	2321
アルメニア語	1835	コルシカ語	1325	トルコ語	3028	マダガスカル語	2317
イタリア語	1930	サモア語	2923	トンガ語	3025	マライ(マレー)語	2329
イディッシュ語	2019	サンクスリット語	2911	ナウル語	2411	マラッタ語	2328
インターリングア語	1911	ジャワ語	2033	ネパール語	2415	マラヤーラム語	2322
インドネシア語	1924	ショナ語	2924	ノルウェー語	2425	マルタ語	2330
ウェールズ語	1335	シンド語	2914	ハウサ語	1811	モルダビア語	2325
ヴォラピュック語	3225	シンハラ語	2919	バシキール語	1211	モンゴル語	2324
ウォロフ語	3325	スウェーデン語	2932	パシュト語	2629	ヨルバ語	3525
ウクライナ語	3121	ズール語	3631	バスク語	1531	ラオ語	2225
ウズベク語	3136	スコットランド(ゲール)語	1714	ハンガリー語	1831	ラテン語	2211
ウルドゥー語	3128	スペイン語	1529	パンジャブ語	2611	ラトビア(レット)語	2232
エストニア語	1530	スロバキア語	2921	ビハール語	1218	リトアニア語	2230
エスペラント語	1525	スロベニア語	2922	ビルマ語	2335	リンガラ語	2224
オーリヤ語	2528	スワヒリ語	2933	ヒンディー語	1819	ルーマニア語	2825
オランダ語	2422	スンダ語	2931	フィジー語	1620	レトロマンス語	2823
カザフ語	2121	セルビア語	2928	フィンランド語	1619	ロシア語	2831
カシミール語	2129	セルボクロアチア語	2918	ブータン語	1436	英語	1524
カタロニア語	1311	ソマリ語	2925	フェロー語	1625	韓国(朝鮮)語	2125
ガリチア語	1722	タイ語	3018	フランス語	1628	中国語	3618
カンナダ語	2124	タガログ語	3022	フリジア語	1635	日本語	2011

故障かな…と思ったときは

故障かな？と思われたときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

ガイドメッセージについて

間違った操作をすると、テレビ画面にメッセージが５秒間表示されます。

	症状	原因と	ガイドメッセージ	処　　置	参照ページ
電源	電源がはいらない。	●電源コードが抜けている。		●コンセントにしっかり差し込む。	――
DVD再生	DVD ディスクの再生が始まらない。	●ディスクを入れ忘れている。	ディスクが入っていません	●ディスクを入れる。	20
		●本機で再生できないディスクがはいっている。	このディスクは再生できません リージョンコードが違います	●ディスクの種類を確認する。	9
		●ディスクが汚れている。		●ディスクをきれいにする。	10
		●視聴制限が設定されている。	視聴制限がかかっています	●設定を解除する。	43
	再生中の画像がテレビに出ない。	●プログレッシブモードになっている。		●プログレッシブモードを解除する。	43
	ディスクで決められたとおりの再生ができない。	●くり返し、ランダム、プログラム再生などの設定をしている。		●設定を解除する。	27 – 29
	操作ボタンを押しても動作しない。	●静電気やノイズなどの影響で本機が誤動作している。		●本機の電源を入れ直す。それでも動作しない場合、電源プラグを抜き、もう一度差し込む。	――
	画像が乱れる。	●早送りや早戻しをしている。		●早送りや早戻しは多少画像が乱れることがあります。	――
	静止画、サーチ、スロー、くり返し再生、プログラム再生が実行できない。	●これらの機能が使用できないディスクを再生している。		●ディスクによっては、これらの機能が使用できないことがあります。	――
	音声言語や字幕言語を変更できない。	●ディスクに複数の言語が記録されていない。		●ディスクによっては、複数の言語が記録されていないものがあります。	――
	画面表示が出ない。	●［画面表示］が「オフ」になっている。		●［画面表示］を「オン」にする。	42
	MP3/WMA CDが再生できない。	●［リストファイル］の設定が「画像」になっている。		●［リストファイル］の設定を「音楽」または「オール」にしてください。	43
	JPEG CDが再生できない。	●［リストファイル］の設定が「音楽」になっている。		●［リストファイル］の設定を「画像」または「オール」にしてください。	43
	画面に「✋」が表示される。	●禁止された操作を行っている。		●本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。	20
リモコン操作	リモコンが働かない。	●リモコンが受光部を向いていない。		●リモコンの送信部をビデオの受光部に向ける。	14
		●リモコンと受光部の間が遠すぎる。		●7m 以内のところで操作する。	14
		●リモコンと受光部の間に障害物がある。		●障害物を取り除く。	――
		●リモコンの電池が消耗している。		●ボタンを押しても動作しなければ、電池交換する。	14

仕様

●意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
●本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

【本体部】

動作時消費電力	10W
待機時消費電力	3W
電源	AC100V　50/60Hz
質量	2.0kg
外形寸法	幅 430 × 高さ 47 × 奥行 205mm
使用レーザー	半導体レーザー　波長 650/780nm
音声周波数特性（デジタル音声）	DVD リニア音声　：48kHz サンプリング 4Hz ～ 22kHz（JEITA） ：96kHz サンプリング 4Hz ～ 22kHz（JEITA） （48kHz にダウンサンプリングして出力します。）
信号対雑音比（S/N）（デジタル音声）	90dB
全高調波ひずみ率（デジタル音声）	0.008%、1kHz
ワウ・フラッタ	測定限界（± 0.001%（W. PEAK））以下（JEITA）
映像出力	1V（p-p）、75 Ω不平衡、同期負、ピンジャック× 1
音声出力	－ 12dBm、1k Ω、ピンジャック（L/R）× 1 系統
S 映像出力	（Y）1.0V(p-p)、75 Ω、同期負、ミニ DIN4 ピン× 1 （C）0.286V(p-p)、75 Ω
コンポーネント映像出力	（Y）1.0V(p-p)、75 Ω、同期負、ピンジャック× 1 （C_B/C_R）0.7V(p-p)、75 Ω、ピンジャック× 2
D1/D2 映像出力	14ピン、2列、1.27mmピッチ （Y）1.0V(p-p)、75 Ω　（C_B/C_R）0.7V(p-p)、75 Ω
デジタル音声出力（光端子）	光出力コネクター× 1
デジタル音声出力（同軸端子）	0.5V(p-p)、75 Ω、ピンジャック× 1
リモコン	付属のワイヤレスリモコン使用
使用条件	温度：5℃～ 40℃、湿度：80%RH 以下、動作姿勢：水平
キャビネット材質	ポリスチレン樹脂（PS）

【付属品】

ワイヤレスリモコン（SE-R0181）........ 1 個	単四形乾電池（R03）........ 2 個
映像・音声接続コード........ 1 本	取扱説明書（本書）........ 1 冊

索　引

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品について

- 当社は、DVDビデオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

45ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、運転を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品名	DVDビデオプレーヤー	
形名	SD-270J	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お名前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	（　）　―

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トーシバ ヨイ）
電話受付：365日・24時間受付

新製品などのDVDプレーヤー・レコーダーの商品選びのご相談

『東芝DVDインフォメーションセンター』

フリーボイス **0120-96-3755**
携帯電話からのご利用は 0570-00-3755（通話料有料）
（PHS・FOMAなど一部の電話ではご利用になれません）
受付時間：月曜～土曜　10：00～20：00
日曜・祝日　10：00～16：00
（年末年始・当社指定夏期休業期間等を除く）

※フリーダイヤルまたはフリーボイスは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 **東芝**
デジタルメディアネットワーク社
〒105ー8001　東京都港区芝浦1ー1ー1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

J2F10301A SH 05/02 Ⓚ
Printed in Thailand